

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 2023年2月20日

事業所名: 放課後等デイサービスドリームるんるん

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----------|-----|---------|-------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | | 人数増加の為、調整しながら活動している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | | 言語化を目標に取り組んでいる最中である |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | | 繋げられるように努める |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | ○ | | | 公開する |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | | 外部の評価はいただいていないが、今後は評価に繋げていきたい |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | | 研修の機会を設けている |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | | アセスメントをもとに評価をしている |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | | 目標を書き出し使用している |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | | 平日と土曜日・長期休暇等のプログラムに工夫をしている |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | | 共通理解を行い改善策を考えている |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | | 記録の洗い出しを行い支店の確認を行っている |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | | 担当者会議を行い見直し改善ができる |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | | | 毎回行っている |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|--|----|-----------|-----|---------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | | 直接支援に関わった者が参加している |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | | 話題として取り上げている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | | 行っていない。今後取り組めるようにしたい。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | | 説明を行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | | ○ | | 報告を受け、その都度直接支援や電話での対応を行っている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | | 保護者会の周知も図れて繋ぐことができた。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | | 今のところ苦情は無いが、苦情対応マニュアルに応じた取り組みを行いたい |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | | 日々の取り組みを発信できている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | | 個人情報の書類は鍵付き金庫保管。知り得た情報に関して外部に出さないよう周知徹底している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | | 情報共有を行い取り組んでいる。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | | 今後行っていきたい |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----------|-----|---------|-----------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | | 保護者への周知は未達成であるが、職員研修を行っている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | | 3か月に1回避難訓練の実施を行っている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | | 研修前の研修を担当が受ける予定である |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | | 十分に説明を行っている |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | | アレルギーの有無の確認はできている |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | | ヒヤリハットに関する支店の共通理解できている |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)